



調査レポート

令和6年度 福井県賃金実態調査

～県下企業の賃上げ実施状況が明らかに～

《調査概要》

○目的 県内企業の賃金を業種別、規模別、学歴別、年齢別等に分析し、各企業における賃金制度の改善を図る際の参考資料とする。

○期間 令和6年8月19日(月) ～ 10月11日(金)

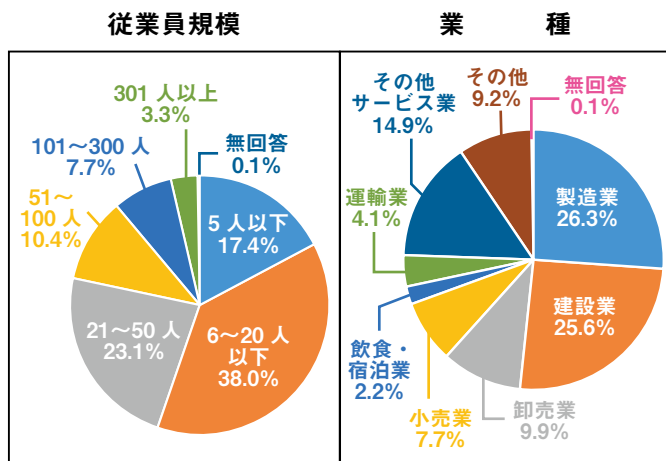
○方法 調査票の郵送による照会

○対象 福井県下3,000社の民間企業を無作為抽出

○回収数 926社(回収率 30.8%)

○前回調査 令和4年度

《回答企業について》



図表1：学歴・年齢別平均月額賃金

年齢	学歴	全体平均	大学・大学院卒	短大・専門学校卒	高校卒
24歳以下		209,532	225,932	202,590	204,503
25歳～29歳		235,461	243,534	223,306	231,832
30歳～34歳		256,645	271,644	239,434	278,629
35歳～39歳		280,305	301,650	270,522	269,373
40歳～44歳		303,987	343,307	282,843	284,532
45歳～49歳		321,247	366,041	298,780	305,180
50歳～54歳		334,177	399,086	332,340	310,833
55歳～59歳		339,172	417,063	330,221	317,102
60歳～64歳		290,691	344,947	293,393	270,052
65歳～69歳		257,834	300,749	251,575	240,582

※赤字は年代間で、最も平均月額賃金が高いもの

月額賃金・年間賃金

は155%という結果であった。

また、福井県内に従事する労働者の令和5年の年間賃金※2並びに賞与金額の集計結果は、図表2の通り。支給額のピークは、「大学・大学院卒」、「高校卒」で「55歳～59歳」時、「短大・専門学校卒」で「50歳～54歳」時となり、「大学・大学院卒」は6,514,806円、「短大・専門学校卒」は5,180,426円、「高校卒」は4,938,232円となった。学歴で比較すると、「55歳～59歳」時点で金額の差が最も開いており、「大学・大学院卒」が「高校卒」より約157万円高い。

継続雇用に関連して、「55歳～59歳」を基準とすると、全ての学歴で「60歳～64歳」の年間賃金は約20%減、「65歳～69歳」の年間賃金は約30%減という結果になった。

※1 所定労働時間内給与（月額）は、基本給＋各種手当（役職・扶養・住宅・通勤・勤務地手当）

所定労働時間内に入らない手当（時間外・休日出勤・賞与手当）

※2 年間賃金は、令和5年1～12月までの1年間に同一企業で勤務した労働者のうち、源泉徴収票に記載された支払額を集計

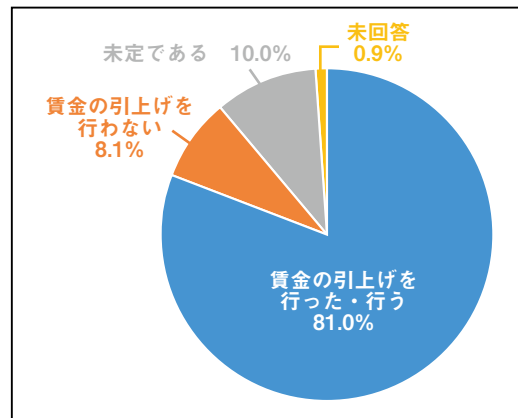
図表 2：学歴・年齢別平均年間賃金

年 齢	全体平均		大学・大学院卒		短大・専門学校卒		高校卒	
	年間賃金	年間賞与	年間賃金	年間賞与	年間賃金	年間賞与	年間賃金	年間賞与
24 歳以下	2,986,085	547,838	3,002,091	557,715	2,802,176	497,465	3,042,388	564,199
25 歳～29 歳	3,628,364	711,341	3,814,658	790,745	3,417,537	704,253	3,540,417	651,918
30 歳～34 歳	3,980,809	790,279	4,276,513	918,134	3,618,354	715,215	3,817,219	701,435
35 歳～39 歳	4,398,567	885,371	4,812,740	1,058,841	4,295,610	857,148	4,143,400	772,093
40 歳～44 歳	4,741,572	949,030	5,351,601	1,174,477	4,348,557	842,973	4,447,476	822,827
45 歳～49 歳	5,008,904	1,028,234	5,704,598	1,233,945	4,643,856	964,621	4,751,914	933,538
50 歳～54 歳	5,189,408	1,059,512	6,228,796	1,418,754	5,180,426	1,089,573	4,790,547	908,660
55 歳～59 歳	5,288,692	1,091,171	6,514,806	1,462,616	5,144,865	1,098,119	4,938,232	974,079
60 歳～64 歳	4,479,844	771,330	5,449,514	1,075,773	4,570,633	799,986	4,118,287	655,255
65 歳～69 歳	3,797,039	518,009	4,571,878	684,622	3,783,521	585,382	3,487,505	443,141

※赤文字は年代間で、最も平均年間賃金が高いもの

賃金の引上げ方法としては「ベースアップ」85・7%、次いで「昇給率の引上げ」20・8%、「賞与の上乗せ」8・7%の順となった。「その他」には、「労働時間短縮」、「各種手当の増額」、「給与体系の変更」、「インセンティブの支給」といった回答がみられた。

令和 6 年 1～12 月の間の賃金の引上げについて



賃金引上げは月額で平均 1 万円（3・79%）アップ
令和 6 年 1 月～12 月の間の賃金の引上げ（予定を含む）について調査したところ、「賃金の引上げを行った・行う」が 81・0%、「賃金の引上げを行わない」が 8・1%、「未定である」が 10・0%という結果になった。

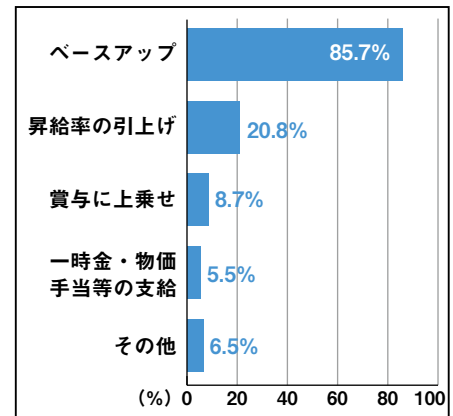
賃金の引上げ

令和 5 年度と比較した令和 6 年度の月額賃金

	1 人あたりの賃金引上げ額 (千円)	1 人あたりの賃金引上げ率 (%)
全体平均	10	3.79
業種別		
製造業	10	3.76
建設業	11	3.77
卸売業	10	3.69
小売業	8	4.01
飲食・宿泊業	8	3.74
運輸業	10	4.52
その他サービス業	10	3.71
その他	9	3.80

令和 5 年度と比較した 1 人あたりの月額賃金引上げ額は、全体平均でみると 10 千円、1 人あたりの賃金引上げ率は 3・79%となった。業種別にみると、賃金引上げ額は「建設業」の 11 千円、賃金引上げ率は「運輸業」の 4・52%が最も高かった。

賃金引上げの方法（複数回答）



令和 6 年度の初任給（学歴別）

学歴	初任給 (円)
大学・大学院卒	208,742 (198,030)
短大・専門学校卒	193,307 (182,140)
高校卒	182,992 (172,216)

※カッコ内は令和 4 年度の調査結果

令和 6 年度の新規学卒者を対象として学歴毎に初任給を調査したところ、「大学・大学院卒」は 208,742 円、「短大・専門学校卒」193,307 円、「高校卒」182,992 円となった。「大学・大学院卒」を基準とした場合、「短大・専門学校卒」の初任給は 7%、「高校卒」の初任給額は 12%低い。前回（令和 4 年度）調査時より全ての学歴の初任給が 10,000 円以上上昇している。

初任給

お問合せ先

福井商工会議所 創業・経営支援課

0776(33)8283

詳細な調査結果については左記までお問い合わせください。